

絵付け陶芸を開催しました！

2月4日（土）には自主事業のなかに位置づけている絵付け陶芸を開催しました。

まず午前の部と午後の部に分かれてあり、それぞれの都合に合わせて午前か午後かを選択して応募された20歳以上の大人で午前午後あわせて6名の方々が彦根市荒神山自然の家においでいただきました。

活動場所は、陶芸作品作りや活動の中心としている研修棟の2階の部屋で行いました。今回は、事前に自然の家で作成した約10cm程の大きさの豆皿を1人に三枚渡し、それに専用の絵の具で好みの絵を描いていきます。この絵の具は、水彩画用の絵の具とは少し違いがあり、絵の具の中に釉薬が混ざっており、色も水彩画用に比べるとすこし鮮やかな色に見えます。前日に所員が絵の具の準備をおこなっています。以前は、酸化コバルトやベンガラなどしかなかったのですが、近年では、絵付け絵の具も進化して色も充実して使いやすいものが増えてきたそうです。

使う筆は、面相筆。水彩画を描くようにはなかなかいかずに苦勞されているようでしたが、時間が経つうちに筆にもなれて、スムーズに筆が動くようになっていました。

絵柄は、全くの自由。所員があらかじめいくつかの転写用の図柄を準備しており、そのサンプルを図柄に炭灰をつかって豆皿に転写して絵の具で書き上げたり、絵心がある方は多く旅行先の思い出のシーンや季節の花々、家族の似顔絵などを描きとりどりの作品が完成しました。絵心がないとおっしゃりながらも、スムーズな筆裁きと時には、カッターナイフや針などを使って輪郭を削り、図柄に変化を持たせておられました。書き終えた後は、自然乾燥をして絵の具が乾いた後で透明の釉薬をかけ

て、自然の家にある電気窯で焼き上げます。窯の温度を1230度まで上げおよそ8時間で完成。素地に描いた絵を釉薬でコーティングするので、長年使用していても絵が消えることはありません。完成した作品は、後日連絡をして取りに来ていただくことになります。

また、目的としては陶芸に興味があったり、趣味の幅を広げてみたい、一度体験してみたかったなどさまざまですが、簡単に作品を作ることも可能です。どうぞ自然の家においでいただき、世界のひとつだけの陶芸作品を作ってみませんか。皆様のおいでをお待ちしております。

